市民と市長のタウンミーティング要旨

日　　時：令和６年６月９日（日）　１５時３０分～１７時３０分
場　　所：シリウス生涯学習センター６１０大会議室
テ ー マ：新総合計画及び市政全般
参加人数：１６人

〇参加者からの意見等

【意見】
- 自治会で管理するリサイクルステーションについて、駅に近い区域のため、飲食店などの事業者、ワンルームマンションが多く、深夜から明け方にかけてルールを無視して出すため対応ができず、Ｂ資源（コンテナ、ネットで分類が必要な紙パック、紙製容器包装、空き缶・金物類（2 品目)、空びん類（3種類)、ペットボトル、白色トレイ）を廃止した。
- 現在は拠点回収を利用しているのだが、高齢で一人暮らしの方は資源ではなく有料ごみとして出さざるを得ない。
- なんとかＡ資源（新聞と折り込みチラシ・段ボール、雑誌・本・その他の紙、布類）とその他プラについては続けているが、リサイクルステーションの近くに住んでいる方ばかりが管理するようになってしまい、結果として自治会を脱会する人も増えており、このままでは管理できなくなる。
- 自治会の負担があまりにも大きい状況であるが、市として今後どのように考えているのか。

【市長】
- 自治会の皆さんには、様々な形でご協力いただいており感謝申し上げる。
- 災害時に秩序が維持できているのは、自治会を中心とした地域コミュニティがあるからで、自治会活動が維持できるよう取り組んでいく。
- リサイクルステーションの管理が難しくなっている状況については、多くの方からご意見を頂戴している。
- 可燃ごみ、不燃ごみのように、資源リサイクルやその他プラについても戸別収集できないか検討を続けており、自治会の負担が減るよう考えている。

【意見】
- ＰＦＡＳ有機フッ素化合物について、引地川で高い数値が出ている。
- 厚木基地の泡消火剤が原因の可能性もあるので、使用を止めるなど対応をしてもらいたい

【市長】
- 現在、厚木基地では旧式の泡消火薬剤は使われていない。
- 厚木基地に対しては、本件を含むすべての安全管理を徹底するよう要請しており、今後も要請を続けていく。

【意見】
- 認可保育園利用に関して、認定証発行に関わる点数算定の『就学』要件に民間の高度ＩＴ人材育成講座も認めていただきたい。
- 現在の要件は、月６４時間以上の就学は、①学校教育法第１条、②第１２４条、③第１３４条第１項、④職業能力開発促進法第１６条第１項及び第２項に定めるものが対象となっている。
- 民間が行っている講座を就学の対象とすることについて、市ほいく課に問い合わせたところ、前例がなく対象外であるとのことであった。
- 高度ＩＴ人材育成講座は経産省･厚労省が設けている補助金の対象となっており、国が補助金を交付している民間の講座等も就学の対象とする基準の改定を検討いただきたい。
- 市の「子育て王国」ウェブサイトには「子育ての始まりを、お子さんの誕生を望んだときから始まっていると捉え、価値観の多様性と社会環境の変化を踏まえながら、ライフステージに応じた切れ目のない支援に努めてきた」「大和市では国が興り発展していくように、これまでコツコツと施策を積み重ねてきました。」とあり、国がＤＸ推進人材を育成することが目的の高度ＩＴ人材育成講座を対象としないのは矛盾しているのではないか。

【市長】
- 子育て王国を掲げているので、市が制定している子育てに関する規則や基準については、今の時代に合わせて見直しを図っていく考えである。
- ご意見については、所管課に情報提供し対応の可否を検討する。

【意見】
- ２０２７年に上瀬谷通信施設跡地で「ＧＲＥＥＮ ＥＸＰＯ」が開催されるが、非常に近い場所で行われるので、大和市として何かやる予定はあるか。
- 「のろっと」と「やまとんＧＯ」について、乗り換えが必要な場合もあるので、運行を集約することはできないか。
- 東京都が国公立私立を問わず高校授業料を実質無償化したが、神奈川県はまだなので、所得制限で受けられない人の分を大和市が負担してはどうか。

【市長】
- 「ＧＲＥＥＮ ＥＸＰＯ」の開催、終了後のテーマパーク開業に向けて、横浜市では周辺道路の大規模な整備が進められている。
- 大和市にも様々な影響があると思うが、最優先で考えなければならないのは道路で、大和市内の幹線道路の渋滞、住宅街の生活道路が抜け道に使われる可能性もあり、市民の安全安心な暮らしを守っていく。
- コミュニティバスについては、幹線道路を大きく周る「のろっと」と、住宅街などを細かく周る「やまとんＧＯ」と目的が異なる。
- 大和市には鉄道駅が８駅あり、いずれも徒歩圏内ではあるが、高齢者やお子様連れの方の移動手段、外出機会を創出するためにコミュニティバスは重要と考えている。

・ 高齢者の孤独・孤立を防ぎ、健康を維持していくためにも、コミュニティバスを利用していただきたいと考えており、利便性をさらに向上させるため、今まさに見直しを進めているところである。
・ 高校授業料の無償化については、国や県に要望していく。

【意見】
・ 児童クラブについて、閉鎖的でベテラン支援員を中心とした独特のルールが多いように感じているので、もっと風通しを良くしてもらいたい。
・ 指導員を若者や外国人などが担えるようにしてはどうか。
【市長】
・ 児童クラブの支援員は不足している状況であり、勤務形態などの課題がある。
・ 今まさに課題解決に向けて所管課と話し合っているところであり、まだ一部ではあるが現場の視察も行っている。
・ 子どもたちによりよい環境を提供するために、支援員不足を補うため市独自の研修や面接を行うことにより地域の人材に協力をいただく大和スタイルの児童クラブを目指していきたい。

【意見】
・ 小学校の先生不足について、産休の代替がいないため教務主任の先生が担任に入っていたり、専門知識がない先生が支援級を受け持っていたり、様々な影響が出ているので、先生不足を解消して欲しい。
・ 給食費の無償化について、近隣で無償化の自治体もあるので、大和市としてはどのように検討されているのか。
・ 児童クラブについて、深見小学校では教室が足らない状況で、預かってもらえることは助かるが、子どもの環境としてはよいとは言えないので、ハード面にも力を入れて欲しい。
・ 中学校部活動の地域移行について、外部から指導員を招くにあたり、子どもを預ける側としては、教育とは何かをわかった、しっかりとした人にお願いしたい。
・ 学校で配付しているクロームブックについて、ゲームができる状況があるが、完全にブロックするのは難しいようで、海外では一人一台端末を止める事例もあると聞いている。国の方針なので、大和市だけでどうにかなる問題ではないのは承知しているが、子どもの学習充実のために、少しでも対策を講じて欲しい。
・ 社会教育団体が学校施設を使用する場合、学校に使用状況を確認後、教育委員会に申請をしているが、スポーツの学校開放と同じ運用にするという考え方もあるようなので、これまでの運用を続けて欲しい。

【市長】
・ 小学校の先生不足は切実な問題として、各学校の校長先生の声としても聴い

て承知しており、地域の人財を掘り起こし、現在の学校を取り巻く環境を研修したうえで、協力いただくことができないか検討していく。
・ 中学校部活動を地域移行する場合の指導者は、技術的なことだけでなく、先生と同じように生活指導も含めて、対応できることが重要である。
・ 先日、協定を締結した日本体育大学には、将来的にスポーツ指導のノウハウを持つ外部の専門人材として、部活動の指導に協力いただくことを想定しており、部活動指導の質を保ちながら先生方の負担を軽減していきたい。
・ いただいたご意見については、関係のある所管課に情報提供し対応の可否を検討していく。

【意見】
・ 大和市に転入して一番驚いたことは、市民の健康維持を推進していることで、毎年、施設検診でがん検診を受けている。
・ 大変ありがたいことではあるが、自己負担をなくし、子育て王国だけでなく、高齢者にも優しいまちにして欲しい。
【市長】
・ 大和市が実施している各種検診について、これからも様々な世代に向けた検診を継続していく。
・ 予防医療に力を入れたいと考えており、日常的にスポーツや運動に親しむことで身体の健康だけでなく、孤独･孤立を防ぐつながりを創出していきたい。
・ ハーバード大学の「幸福」に関する研究で、幸せにはよい人間関係が重要であることが示されており、外出機会の創出、人が集う居場所づくりがとても重要になってくる。
・ 先ほどの先生方の不足を補うための地域の力には、高齢の方がお持ちの知識や経験がとても有効であり、子ども世代と高齢世代が交わりつながるようにしていければと考えている。

【意見】
・ 所属する消防団第５分団は慢性的な定員不足が続いている。
・ 転入転出の多い地域で自治会の加入率が低いため、自治会経由で募集しても不足解消できない状況が続いており、災害時に地域住民の生命財産を守ることができないのではないかと心配している。
・ 定員や区割りを見直す、本職の消防職員を増強するなどを検討して欲しい。
【市長】
・ 東日本大震災、西日本豪雨、熊本地震、能登半島地震などの災害ボランティアの経験から、自治会や消防団の必要性を強く感じている。
・ 消防団の募集に関してもこれまでにない大和スタイルを見出していきたい。
・ 自治会や消防団の活動が煩わしいものだと思われている部分もあるので、活動することのメリットを感じてもらえるようにしていきたい。
・ 具体的なことはまだお話できないが、自治会や消防団などの地域活動をして

いる方にインセンティブを付与することについて検討していく。

【意見】

- 大和市はよい公園が多く、子ども２人を連れてよく利用している。
- 新しくて規模の大きい公園は管理が行き届いているが、地域にある小規模の公園は遊具が古く、雑草も伸び放題のところが多いので、遊具の更新、雑草の定期的な草刈りなど、適切な管理をお願いする。
- スポーツ施設やコミセンなど公共施設が充実しているが、利用方法がアナログなので、アプリで予約や支払いができるようＤＸ化を推進して欲しい。
- 情報インフラの整備が進めば、つながりも促進される。
- ＤＸ化が遅れている自治体は他にもあるので、大和市は早い段階でＤＸ化できれば若い世代、子どもたちへのアピールに繋がる。

【市長】

- 市長２年目に入り、市職員に対して新たな発想で市民サービスに取り組むよう伝えているが、まだまだこれからの状況である。
- 公共施設に関しては、これまでシリウスやポラリスなど大きな事業を展開していたが、今後は公園や道路など身近なところに目を向けて、順次、手を入れていくので、今しばらくお待ちいただきたい。
- 公共施設の予約については、管理しているシステムがそれぞれ異なるため、スポーツ施設のみ対応することは難しく、時期を合わせてデジタル化することの可否を検討しているところである。
- 受益者負担について、市内と市外で金額差を付けることや、スポーツ施設や学校開放に関して、利用が無い日や時間帯もすぐに使えるような形にできないかなども議論している。
- 子どもたちには、身体を動かすことの楽しさを知ってもらいたいので、そういった機会や場所を提供していけるようにしたい。

【意見】

- ０歳児～２歳児の小規模保育園から、３歳児以降も通える保育園に転園する際に、第二子の産休期間と被った場合、産休明けに仕事に復帰しなければならない。
- 現在、１０か月の子の育児中で、入れたところが小規模保育園だったため、タイミングによってはこの壁にぶつかる可能性がある。
- 同じくらいの子を持つママ友もよくこの話が出るので、制度を見直してもらえるとありがたい。

【市長】

- 制度については、見直せるものは見直していきたいと考えている。
- ご意見を関係する所管課に情報提供し、対応の可否について検討する。

【意見】
・ 児童クラブで支援員をしており、先ほどのお話については、保護者の方のご意見として受け止めて、お子さんをしっかりお預かりしていく。
・ お子様の命をお預かりしていることを肝に銘じながら、骨子案の目標３にもあった「こどもが将来に希望をもって生きるまち」、まさに子どもは未来であるという気持ちで支援員をさせていただいている。
・ 支援員としても、先ほどのご意見と同意見で、支援員不足や使える教室の不足を解消していただけるよう、大和スタイルを期待している。

【市長】
・ 子どもの環境をよくするためには、支援員さんの環境もよくする必要がある。
・ 先日視察した児童クラブはとても多くのお子さんを預かっているところで、支援員さんが一生懸命対応してくださっているのを目の当たりにした。
・ 現場の大変さを見ると、デジタル化で負担が軽減できることもあるのではないかと考えている。
・ すぐに対応ができるものではないので恐縮だが、調査研究を進めてよりよい形を見出していきたい。

【意見】
・ 引地台中学校の代表で意見をお伝えする。
・ 生徒からの意見として、体育館に冷房を設置して欲しいという声が多いことをお伝えする。
・ 文化系の部活動でシリウスメインホールを利用する場合、利用料金の負担が大きいので減免して欲しい。

【市長】
・ 体育館は災害時の避難場所にもなるため、中学校から順次空調を設置していく。６月議会に設計業務委託の補正予算を計上して、令和７年度から５年間かけて整備していく予定である。
・ 今、通っているお子さんがいる間ではなく恐縮だがご理解いただきたい。
・ シリウスメインホールの減免については、ご意見を関係する所管課に情報提供し、対応の可否について検討させていただく。
・ 文化系部活動の発表の場という意味では、今年の１月に海上自衛隊横須賀音楽隊が行った「やまと新春ふれあいコンサート」に、光丘中学校と南林間中学校の吹奏楽部が出演して好評であった。
・ 今後も中学校の部活動が参加できる場を提供していきたい。

【意見】
・ 大和市母子寡婦福祉会でひとり親家庭の支援活動を行っている。
・ こども食堂について、色々な形で広報されているが、ひとり親家庭に情報が行き渡っていないと感じている。
・ こども食堂の活動がもっと広く周知され、必要とする方が利用できるように

なるようにして欲しい。

【市長】

- 子どもたちへの食の提供はとても大切なことである。
- いただいたご意見を関係する所管課に情報提供し、こども食堂を広く知っていただけるように努めていく。